



Sierra Leone

The Republic of South Sudan



掘削後の井戸洗浄



(上)井戸掘削の様子を眺める被災地域の子どもたち



(下)建設中の共用井戸

アシストアフリカ!

アフリカは今、世界でも最大規模の国内避難民と難民を抱える地域です。「アフリカ最大の難民危機」と指摘されるほどの事態にもかかわらず、その実情が日本に伝えられる機会は少なく、知るすべも限られています。日本から約1万km離れた大陸で、何が起きているのか。タウトク編集部では、南スーダン、ケニア、ウガンダ、シエラレオネで活動するNGOピースウィンズ・ジャパンの協力により、その現実の姿を伝えていきます。支援活動を続ける同スタッフの奮闘のレポートを紹介しつつ、アフリカが抱える問題を少しずつもとき、少しでも身近な出来事だと感じられるようにしたい。

株式会社メディコムでは、読者の皆さんにタウトク1冊(350円)購入いただくにあたり、その約1%である3円をアフリカの復興支援のために送金します。

「支援している」という高みに立った目線ではなく、積極的に関わり合いをもつことで現地の様子が気になるようになり、やがて世界で起こっているいろんな紛争や悲劇と、自分たちは決して無縁ではないことを肌で感じるための「3円」だと思っています。ぜひこの1%運動をご理解いただき、本誌連載にご注目ください。

PWJの携帯サイトはこちら!



世界各地で支援活動を行っているスタッフからの「現地活動レポート」、最新のNEWSなどの情報が携帯からチェックできるようになりました! 左のQRコードからアクセスしてみ! <http://www.peace-winds.org/m/>

タウトクでは毎月、アフリカの国内避難民・難民支援事業へ送金した金額=タウトクの販売部数×3円を読者のみなさんにお知らせします。

タウトク1月号の販売部数 ●,●●部×3円=●,●●円

を支援金としてPWJを通じアフリカの国内避難民・難民支援事業に送りました。



月刊タウン情報トクシマ
タウトク
medicomm inc
株式会社メディコム
月刊タウン情報トクシマ編集部

ピースウィンズ・ジャパン現地レポート

「土砂崩れ・洪水被災地域復興支援」 ～水衛生環境の向上と被災者の生活再建を目指して～

「2017年に発生した洪水は過去の洪水と比べても異常でした。土砂崩れが発生した時、家の中は浸水しており、10才の息子は首まで水に浸かり溺れかけていました。家財道具は殆ど洪水で流出してしまい、今は少ない道具を近所のみなどと共有して使っています。」当時の状況と現在の生活をそう話してくれたのは、被災者で2児の母親であるファトゥムサさん。

現在、私たちピースウィンズ・ジャパン(PWJ)はシエラレオネの首都フリータウンで洪水の被災者、特にムサさんのような避難所へは長く留まらずに自宅へ避難している人びとへ支援を行っています。物資支援を始め、早期復旧のため学校の井戸やトイレ、被災地域の共用井戸やクリニックの設備修繕の支援を行っています。

災害が発生した当初、避難所となった学校へは大勢の人々が押し寄せ、支援を待つ被災者の長蛇の列ができていました。大勢の人が避難所に押し寄せたことで学校のトイレは満タンとなり、衛生環境の悪化による感染症の危険性が高まりました。その後、トイレは完全に封鎖され、代わりに簡易トイレが建てられました。しかし、災害から数か月経った現在でも、子どもたちの多くは未だに簡易トイレを利用しています。一日も早く彼らの衛生環境が改善されるよう、PWJはトイレの復旧作業も進めています。

一方、洪水と土石流はトイレのみならず、彼らの水衛生環境にも影響しました。たくさんの土砂や泥が



被災者へインタビューするPWJスタッフ

共用井戸に流入したことにより、井戸の水が飲料として使用できなくなりました。被災地域にある井戸の殆どは河川付近にあること、そして簡易なふたをしただけの作りのため、今回のような大規模な洪水が発生した場合、井戸の汚染は避けられません。そして、被災者の多くは、別の場所へ引っ越したいにも関わらず、資金不足により引っ越しができない状況に陥っています。このように、災害で家を失った人びとだけでなく、自宅で避難生活を送っている被災者もまた深刻な問題を抱えています。PWJは汚染してしまった井戸を再び飲み水として利用できるよう井戸の修繕を行いました。また、洪水時でも汚染水が入り込みにくい仕様にするにより、汚染が招く感染症の予防にもなります。

今回の土砂崩れと洪水により、被災者の人びとは多くのものを失いました。彼らの生活が一日も早く再建されること、そしてこの地に住み続ける彼らが将来再び直面し得る自然災害への不安を少しでも取り除けるよう、引き続き支援を行っていきます。

佐藤



建設中の学校のトイレ

*本事業は、ジャパン・プラットフォームからの助成金や個人・法人のみなさまによる寄付金により実施しています。